

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 7年 2月 25日

公表: 令和 7年 3月 21日

事業所名 児童発達支援 にじいろふたば

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	今年度、室内スペースをより広く確保するため、おもちゃを別エリアに移動した結果、お片付けに対する意識向上の効果もあった。	
	2	職員の配置数は適切である	6	0		送迎時に支援室内の職員が手薄になるため、送迎ルートの工夫を検討中。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	0	1日のスケジュールを見える化して分かりやすくしている。また、仕切りをつくって遊びと活動の切り替えを行うことができるような環境設定にしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	0	遊ぶ時間の際には、教具などを前もって支援室内に設置し活動のバリエーションを増やしている。 今年度は、集団活動や個別支援の時間は子どもの集中が高まるよう、おもちゃのスペースと活動のスペースで空間を分けるよう工夫した。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	日々ミーティングの時間を設け、職員同士で話し合うことができている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	評価結果を真摯に受け止め、職員間で話し合い、改善できる点はすぐに改善している。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	毎年、いただいた意見を公開している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	6		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	研修は対面、オンラインを含め、豊富で充実した内容のものを毎月数回受けている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	保護者に寄り添った面談を行いながら、子どもの課題を一緒に考えて作成している。さらに、児発管と現場が連携し、支援計画に沿った支援を行っている。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	必ず全員にアセスメントツールをお配りし、必ずその内容を確認した上でアセスメントを行っている。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	0	本人支援、家族支援、地域支援、全てにおいて細かく計画が立てられていて、それに沿った支援が行われている。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0	お子さまの課題に合わせて、計画に沿って支援が行われている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	月替わりで各職員が5領域に沿った内容で集団活動を立案し、どのように実施していくか話し合っている。また、子どもたちが楽しみながら学べる内容にしている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	集団活動については毎月ねらいがあり、さらに週単位で活動内容も変えている。個別支援については日々取り組む内容を変えていて、お子さまの課題や成長発達に合わせたものを用意している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6	0	毎日集団活動と個別支援の2つの活動を行っており、支援計画に沿った内容にしている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	毎日30分程度かけて朝礼を実施している。その中で、前日の振り返り、ご利用者の最新の様子、支援のねらい、当日の職員の動き、報告事項などの打ち合わせを細かく行っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	支援終了後ではなく、すぐに報告し合い、共有を図っている。また、連絡ノートを活用し、休みの職員にも正確に情報が伝わるように工夫している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	サービス提供記録などで細かく記録をとることで、支援の検証や改善につなげている。	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0	モニタリング面談には児発管だけでなく現場の職員も同席し、児童の様子や今後の支援について話し合いを行っている。また、課題をスモールステップに区切り、少しずつでも達成感を感じてもらえるようにしている。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	0	必要に応じて、さまざまな連携機関と連携を取っている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	6	現在医療的ケア児はいませんが、今後通所があった場合は、連携した支援を行います。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	6	現在医療的ケア児はいませんが、今後通所があった場合は、連携した支援を行います。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	保護者様からのご要望に応じて毎月3件ほど、園への訪問を実施している。園での様子を見学させていただき、その子にとって最適な支援ができるよう検討をしている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	ご要望に応じて、小学校や就学相談を行なっている春日井市教育研究所と連携を取らせていただくことがある。また、お子さまのサポートブック等の作成をお手伝いさせていただくことで情報共有を行っている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	0	他の療育機関に移行されるお子さまについては、保護者様の許可を得た上でお子さまの情報共有をさせていただくことがある。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6	0	毎月1~2回程度、高校生のボランティアがお手伝いに来てくれている。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	6	そういった機会があればぜひ参加したい。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	日々、サービス提供記録に細かくお子さまの様子を記載すると共に、メッセージや電話、送迎時の時間や面談も活用しながらコミュニケーションを取るよう努めている。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	0	外部講師をお招きし、ペアレントトレーニングを目的とした講演会を年に数回行っている。さらに、講演会の後には個別相談会も実施している。また、保護者会等を開催し、保護者に対して家族支援を行うことができるような機会を設けている。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	契約時に、契約書の内容を丁寧に説明させていただいている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0	必ず、個別支援計画の内容をご確認いただき、サインをいただいている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	サービス提供記録や保護者会、定期的に面談等を実施することでお子さまに対する悩みなどをお聞きしたり、助言を行っている。また、面談のご要望がなくてもこちらから気になることがある場合は面談を保護者様に申し込むこともある。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	0	年に2回、保護者会を開催し、保護者同士のコミュニケーションの場を提供している。	
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	相談や申し入れがあった際は極力すぐに対応している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	L-STEPを活用し、毎月事業所での取り組み内容等を発信している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	0	会社としてにじいろパントリーを開催したり、地域住民が対象のイベントを実施している。また、ボランティアの学生さんを毎月1～2回招き入れ、子ども達との関わりを持ってもらっている。	ボランティアさん側の催しにも参加させていただくことも検討している。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0	マニュアルが策定され、避難訓練も行っている。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	0	必ず持病については確認を取り、特にてんかん発作については緊急マニュアルを策定している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	アレルギーの確認を事前に必ず行い、指示に基づいた対応を行っている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	ヒヤリハットが起きた際には書類を作成し共有している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	定期的に虐待防止研修を行っている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	0	支援計画の備考欄に記載するとともに、口頭での説明を必ず行っている。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。